



© 2006 Teddy Bear Films

じょうえりじー

長編ドキュメント『女工哀歌 / CHINA BLUE』

(監督: ミカ・X・ベレド / アメリカ / 日本語字幕 / 2005年 / 88分)

“世界の工場”と呼ばれるようになった中国の、とあるジーンズ工場。数米や日本に向けて製品が作られている。四川省の農村で生まれ育った16歳のジャズミンは、家計を助けるために2日間の列車旅をかけて工場にやってきた。与えられた仕事は、完成したジーンズをチェックして余分な糸を切ること。時給7円という低賃金だが、ほとんど休み間もない忙しさに深夜労働も度重なり、しかも給料の遅配も続く。工員たちの不満がつのっていった…。悪夢のような生活の中に夢や希望を見いだして力強く働く少女たちの姿を捉えた迫真のドキュメンタリー。

監督のミカ・X・ベレドは、スイス生まれのイスラエル育ち。さまざまな職歴を経てドキュメント映像作家の道へ。「ウォルマートがなぜ、あれほど安く商品を売っているのか」を探るうちに、この作品の制作へと至る。当局によるテープ没収、隠し撮り、撮影対象の変更などの苦勞を経て、本作を完成させる。アムステルダム国際映画祭でアムネ스티・ヒューマン・ライツ・アワードを受賞。



ちょうぼく、 趙博 ライブ

「浪花の歌う巨人・バキヤん」の真名をとる歌劇歌芸人。大阪市西成区出身、在日韓国人2世。大学でロシア語を、大学院で教育学を専攻。元・関西大学、河合塾講師。ブルース・ジャズ・ロック・フォークは勿論のこと、朝鮮や韓国の古典民謡やニホンの演曲、落語も得意で、年間のライブ・公演数は百回以上にのぼる。



レイバーフェスタって何?

「労働」や「労働運動」あるいは「生活」を、映像やパフォーマンスなどを通して見つめ直すイベント。アメリカ西海岸ではじまり、韓国や南米などにも広がり、大阪では2004年からスタートした。失業やリストラが蔓延し、労働組合もあるような、ないような日本社会。いま、私たちがいかに生き、どう暮らしや権利を守っていけばいいのか。映像を通して一緒に考えてみませんか。

PROGRAM

11:30 長編ドキュメント『女工哀歌』

13:30 公募3分間ビデオI(大阪作品)

15:00 趙博ライブ

15:45 公募3分間ビデオII(東京作品)

※途中3回の休憩タイムをはさみます。16:50終了予定

お問い合わせ メール予約受付可

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-7-2チサンマンション新大阪 707 ビデオ工房 AKAME 気付
TEL&FAX: 06-4805-0234 メール: fffesta@yahoo.co.jp ウェブ: http://labour.blog71.fc2.com

公募「3分間ビデオ」

映像で観る「あなたの仕事・ワタシの権利」

レイバーフェスタが切り開いた新しい映像表現ともいうべき、一般公募による自主制作3分ビデオ。働く人たちの姿や声、問題提起を3分の映像にまとめてみてください。例年通り、東京とも提携して相互に上映する予定です。応募希望者は、著作権をクリアしたうえで、タイトル・制作者・連絡先を明記し、mini DVか DVD で下記まで送付してください。

応募締め切り: 2010年12月10日(金)

作品応募先: 下記お問い合わせ先と同じ

賛同募集

この企画に賛同していただける個人や団体を募集しています。数多くの協力があってこそ、レイバーフェスタの成功があるのです。

一口: 個人 1,000円 団体 3,000円

郵便振替: 00980-9-77056 「レイバーフェスタ大阪」

レイバーフェスタ 2010 OSAKA 実行委員会 呼びかけ人

エンドウ ノリコ (ビデオ工房 AKAME) 小山 幹人 (自由ジャーナリストクラブ) 在岡 秀和 (大阪労働者弁護団)
津村 明子 (働く女性の人権センター・いこ☆る) 山原 克二 (APWS L関西)

募集中!